

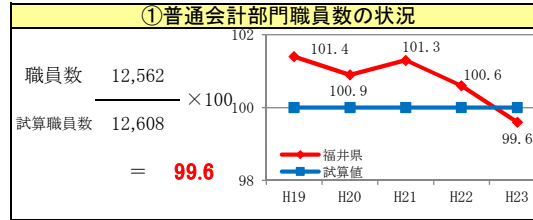
参考指標による職員数等の現状・分析シート

福井県

<基本データ>

団体名	福井県
人口(H23.3.31)	806,428 人
面積(H23.10.1)	4,190 km ²
全職員数(H23.4.1)	13,536 人
普通会計部門	12,562 人
一般行政部門	2,873 人
教育部門	7,716 人
警察部門	1,973 人
公営企業等会計部門	974 人
財政力指数(H21)	0.43

※教育・警察の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。

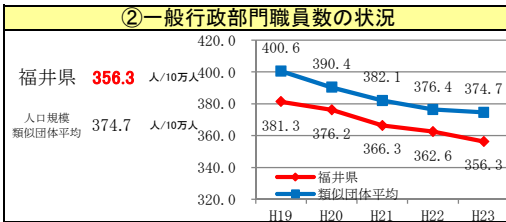
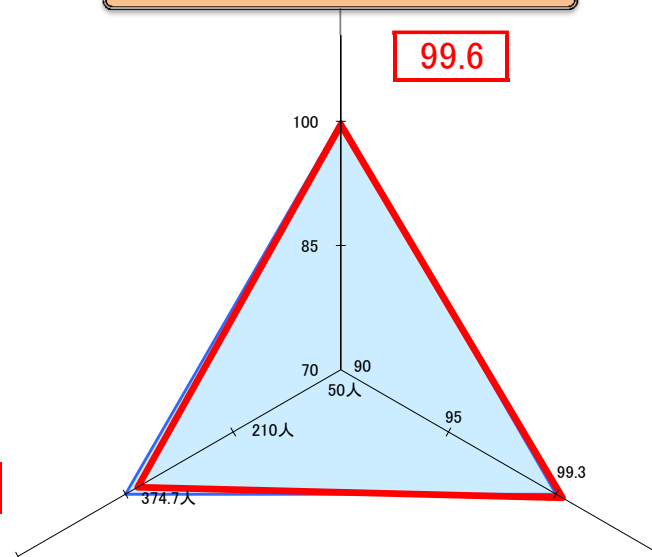


※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

<三角形の見方>

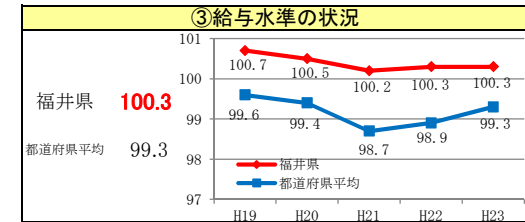
- ・太線(赤)は 福井県の状況を表しています。
- ・細線(青)は都道府県の平均値等を表しています。

①普通会計部門職員数の状況



※人口10万人当たりの職員数を示しています。

②一般行政部門職員数の状況



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

普通会計職員数は、全国的に見ても最小規模(47都道府県中2位)の水準である。また、平成17年4月から平成23年4月までの6年間で、普通会計職員数について6.9%削減し、人口・面積を基にした試算職員数と比べ、少なくなっている。今後も行政需要に的確に対応できる適正な職員数の管理を実施していく。

【②一般行政部門職員数の状況】

一般行政部門の職員数は、全国的に見ても最小規模(47都道府県中2位)の水準である。また、平成17年4月から平成23年4月までの6年間で、一般行政部門の職員数について10.0%の削減目標に対して、11.0%の削減を達成し、人口規模類似の他県と比べ、少なくなっている。今後は、平成23年4月から平成28年4月までの5年間で3.0%の削減目標を立てており、適正な職員数の管理を実施していく。

【③給与水準の状況】

過去10年間においてラスパイレス指数が最高であった平成14年4月1日現在の102.8に対し平成23年4月1日現在では2.5ポイント低下している。また、給料表の水準を平成18年度からおおむね5年間で平均4.8%引き下げたほか、新たな人事評価制度の導入により、職責や勤務実績に応じた給与制度への転換を図るなどの給与構造改革を実施した。なお、ラスパイレス指数が他県を超えている理由としては、他県との経験年数別の職員構成の違いなどによるものと考えられる。

【④その他】

県税事務所、健康福祉センター、農林総合事務所、土木事務所の組織再編や指定管理制度導入等により、効率的、効果的な行政サービスを提供できる体制を整備している。

平成23年4月から平成28年4月までは、平成23年7月に策定した「第三次行財政改革実行プラン」に基づき、適正な定員管理を継続していく。